



平成 27 年 10 月 5 日
株式会社海遊館 広報チーム
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<http://www.kaiyukan.com/>
(担当：村上、田中)

オウサマペンギンの赤ちゃんが誕生しました！

大阪市港区の海遊館では、平成 27 年 9 月 25 日（金）に、オウサマペンギンの赤ちゃんが 1 羽誕生しました。現在、「南極大陸」水槽にて、親鳥がおなかの下で保護しており、時折、赤ちゃんが顔をのぞかせます。6 月 21 日生まれのアデリーペンギン（6 月 22 日報道発表済）、6 月 23 日生まれの同じくアデリーペンギン、7 月 20 日生まれのジェンツーペンギンの赤ちゃん（7 月 29 日報道発表済）誕生に引き続き、今年 4 羽目のペンギンの赤ちゃんとなります。

オウサマペンギンは、ペンギンの中でも特別な方法で卵を温めます。巣をつくらず、卵を直接あしの上に乗せ、おなかの皮膚をかぶせて卵を包み込みます。オスとメスが交替で卵を温め、およそ 60 日後に赤ちゃんが誕生します。

海遊館では、オスとメスが卵を受け渡す時に、卵を落として割ってしまったり、プールに落としたりする事故を防ぐため、産卵後すぐに、模造の卵とすり替える工夫を行います。卵はふ卵器に收容し、赤ちゃんが中から殻を割り始めた頃に親鳥に戻します。

現在、赤ちゃんの健康状態は良好で、飼育係員は、毎日、赤ちゃんの体重を測定し親鳥とともに成長を見守っています（体重測定は、海遊館の開館時間前に行います）。

海遊館でのオウサマペンギンの誕生は、通算 42 羽目となりました。



体重測定中の赤ちゃん（平成 27 年 10 月 1 日撮影）

報道関係の皆様へ

「南極大陸」水槽でのオウサマペンギンの赤ちゃんの体重測定の様子を撮影していただけます。ご希望の方は、撮影希望日の前日までに海遊館広報チームまでご連絡ください。

尚、スペースの都合上、撮影の際は人数の制限などがございます。予めご了承ください。

海遊館広報チーム 06-6576-5529

1. 赤ちゃんの誕生について

産卵日：平成 27 年 7 月 31 日（金） ※卵の長径 102.0mm、短径 71.0mm、重量 273.3g

ふ化日：平成 27 年 9 月 25 日（金） ※産卵後 56 日目、体長約 10cm（目測）、体重 186.9g

雛の大きさ：体長約 15cm（目測）、体重 443g ※10 月 5 日現在

2. オウサマペンギンについて

和名：オウサマペンギン（ペンギン科） 英名：King penguin 学名：*Aptenodytes patagonicus*

南極大陸周辺の島に生息し体長約 90cm、体重約 12kg。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。

ふ化後約 1 ヶ月で体重約 2 kg、2 ヶ月で体重約 7 kg。生まれてからおよそ 6 ヶ月後には親鳥

とほぼ同じ大きさになる。生後 8 ヶ月頃に茶色い綿羽が抜け落ち、親と同じ模様になる。

3. 参考写真



（上）体重測定の様子
飼育員が一時的に親のおなかの下から取り出し、体重計に乗せ、すぐに親のもとに戻します。



（下）親子の様子（過去の様子）
親に守られている雛が、時折顔をのぞかせます。